



加悦谷 ニュースレター



一人一人の可能性を伸ばす

宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

vol. 2 (6月)

題字：書道部
武縄 咲希(3年) 作

3年生進路別ガイダンス

進

路別ガイダンスを実施しました。様々な大学、専門学校の説明や、就職試験に関する講座などを開催しました。

多くの講師の先生方にお越しいただき、生徒たちはそれぞれ希望進路の分野に分かれ説明を聞きました。同じ学部学科などの話を聞き比較したり、進路に関する疑問を直接質問でき、進路決定に向けて走り出す良い機会となりました。



生徒会活動

生

徒会役員のメンバーが5月8日(日)、与謝野町のボランティア団体・よさの百年の暮らし委員会(愛称「みらいふ」)の皆様とともに、野田川庁舎の緑のカーテンづくりと阿蘇シーサイドパークのごみ拾いを行いました。

緑のカーテンづくりではフウセンカズラを植えるために、土づくりと種採取、種まきなどを行いました。フウセンカズラは二酸化炭素の吸収率が他の植物の5~6倍と言われており、温暖化対策の一つとして、みらいふ様で毎年緑のカーテンづくりをされています。生徒会役員のメンバーはその活動に参加させていただきました。

緑のカーテンづくりの終了後は、阿蘇シーサイドパークへ移動し、ごみ拾いを行いました。この日は阿蘇シーサイドピクニックというイベントが行われており、パーク内には多くの方がいました。生徒たちは主に海沿いのごみ拾いをしました。

初めてボランティア活動をした生徒たちには、「緊張したけど、和やかに話しかけやすい雰囲気を作ってくれたので、楽しく参加できた。」「今回は、一つの作業が終わってから次の指示をもらうまで動けない、ということがあったので、次回は自分から動いていきたい。」と、有意義な経験となったようでした。



ま

た、5月10日(火)放課後、生徒会の呼びかけで自転車道の清掃ボランティア活動を行いました。50名の生徒が参加し、いつも登下校に利用している自転車道をきれいにしました。

1年生人権学習

障

がいテーマに人権学習を実施しました。障がいの有無にかかわらず、人には得手・不得手があり、また、誰もが障がい者になりうること、そして、日本国民には等しく学ぶ権利があることを学びました。

また、本学舎で長年にわたり受け継がれてきた与謝の海支援学校との交流会の意義を学び、今後、同支援学校の生徒と交流する機会があることを知りました。

授業後の生徒の感想には、「支援学校の生徒たちとの交流は初めて知って、私も参加してみたいと思った。一緒に何かをやるというのがすごくいいと思ったし、自分自身も成長することができると思う。」「障がい者についての話を聞くことはあっても直接交流するということ、今まで経験したことがないので、支援学校との交流はすごくいい機会だと思いました。」など、支援学校との交流に関する内容が多く見受けられました。



3年生スポーツ体験学習

ス

ポーツ体験学習を行いました。

今年の第3学年のスローガンは、3C【Challenge. Change. Chance】です。

経験したことのないスポーツやニュースポーツなどに積極的にChallengeすることをねらい、運動が苦手な生徒もChallengeできる種目を設定し、各グループが7カ所をローテーションして、ペタンク、ストラックアウト、カローリングなど多彩な種目を体験しました。

クラスや学年全体で親睦を図り、楽しめる良い活動になりました。



桜の植樹

京

都府立加悦谷高等学校同窓会から、桜の苗を寄贈していただき、中庭に植樹しました!

同窓会役員の方にお越しいただき、アドバイスをいただきながら無事植樹することができました。

加悦谷高等学校同窓会の皆様、ありがとうございました。将来、本学舎のシンボルツリーとなるように大切に育てます。



部活動の実績

<ウエイトリフティング部>

4月30日(土)、第36回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会が、愛媛県新居浜市市民体育館にて開催され、女子76kg級で出場した長島和奏さん(2年・江陽中)がクリーン&ジャーク125kgで1位、トータル215kgで2位の成績を収めました。クリーン&ジャークは**日本新記録**、トータルは**ジュニア日本新記録**を樹立しました。この記録により長島さんは、メキシコで開催される2022世界ユース選手権大会の日本代表に選出されましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため高校生の海外派遣は見送られました。次の機会を期待します。



長島さんは、全日本選手権大会を振り返り、「今大会は日本新記録を樹立できたという節目となる嬉しい試合になりました。スナッチの2試技目で失敗したことは、フォームが安定していない部分が出てしまい、大きな課題となりました。この経験を活かし、世界で活躍できる選手を目指して日々努力していきます。」と語りました。

また、5月7日(土)~8日(日)、京都府春季ウエイトリフティング選手権大会が鳥羽高校で開催されました。

女子59kg級で鹿田心愛さん(2年)が4位、女子71kg級で下村愛里さん(2年)が1位、男子81kg級で新治薦多朗さん(1年)が2位、男子89kg級で今井鼓太郎さん(2年)が1位に入賞しました。



<陸上競技部>

第

57回両丹高等学校陸上競技対校選手権大会が5月3日(火)、4日(水)に丹波自然運動公園で開催され、男女ともに総合優勝を果たしました。個人では男子で4種目、女子で3種目優勝、また多くの選手が6位入賞を果たし、6月に開催される京都インターハイの出場権を得ることができました。今回はケガ等でサポート役に回った部員や新1年生が両日ともに補助員として活躍し、テントでの送り出しや出迎え、拍手による声援など、コロナ禍ではありましたがチームワークも成長した大会となり、こうしたすべての力の結集が勝利につながりました。



<女子バスケットボール部>

今

和4年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼 近畿高等学校バスケットボール大会京都府予選 両丹代表決定戦兼両丹高等学校選手権大会が4月24日(日)から始まり、本校は峰山高校と府大会出場をかけた試合となりました。

試合は一進一退の攻防でしたが、最後まで集中を切らすことなく、終盤に流れを引き寄せると一気に点差を広げ、見事勝利を手にすることができ、府大会出場を決めました。



<合唱部>

5

月8日(日)、阿蘇シーサイドパークで行われた阿蘇シーサイドピクニックにて、マイクパフォーマンスを行いました。

風が強く肌寒い天候ではありましたが、パフォーマンス時には子供から大人まで多くの方が聴きに集まってくださいました。

阿蘇シーサイドピクニックは毎月第2日曜日に開催されていますが、合唱部も随時パフォーマンス披露をさせていただきますので、ぜひ御来場ください!



両丹総体

今

和4年度第74回両丹高等学校総合体育大会の結果をお知らせします。各運動部活動とも普段の練習の成果を発揮し、好成績を収めることができました。

学校対抗で男子は総合第3位。これは出場15校中、公立高校勢ではトップの快挙でした。内容は、陸上競技 上級優勝で3点、下級優勝で3点、バレーボール 上級準優勝で1点、下級準優勝で1点、バスケットボール 上級3位で1点、下級3位で1点、ソフトテニス 下級3位で1点と確実に点数を積み上げ、合計11点を獲得しました。

女子は総合第4位で、出場15校中、福知山成美、福知山、綾部に続き、第4位と健闘、丹後地域の高校では圧倒的な力を見せました。内容は陸上競技 上級優勝で3点、下級優勝で2点、バスケットボール 下級3位で1点、卓球 下級3位で1点、合計7点を獲得しました。

コロナ禍のため3年ぶりの開催となったため、宮津天橋高校としてはじめての両丹総体でしたが、加悦谷・宮津両学舎の力をあわせることで、大きな成果を収めることができました。

今、加悦谷がNEW TYPE



京都府立
宮津天橋
高等学校
加悦谷学舎

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話 : 0772-42-2171

FAX : 0772-42-2172

生徒たちの学校生活なども更新中!
Web サイトもご覧ください

宮津天橋高校

検索

高校HPの
QRコード

